

(6) 討論主題——『今、そして将来必要とされる環境分析化学とは？：無機及び有機分析の観点から』

オーガナイザ：加賀谷重浩（富山大）・鳥羽 陽（金沢大）

世界人口の爆発的な増加とそれに伴う産業活動の拡大により、人類は地球環境の汚染や破壊を招き、現在なおこれらの多くを克服できずにいる。環境分析技術の発展は、人の健康保持増進や生物多様性の保全を脅かす環境問題を明確化し、その解決の糸口を探る上で必須であることは言うまでもない。本主題では、無機分析、有機分析の二つの観点から、今、そして将来、環境分野の研究に必要とされる分析化学について発表討論する。

【依頼講演】

- 1) 水道水・環境水中の無機物質と今後の動向（国立保健医療科学院）浅見真理
- 2) 水中微量元素の高速分離濃縮技術（富山大）加賀谷重浩
- 3) 異性体分析、光学異性体分析を用いた POPs の環境動態と運命予測（阪大）中野 武
- 4) 生体曝露評価に利用できる多環芳香族炭化水素類の代謝物分析（金沢大）鳥羽 陽

※演題は仮題を含みます。